

11月の乳幼児の健康診査

*該当月に受けられない場合は、子育て支援課または各支所保健福祉課へ連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	29年7月1日～17日生まれ	29㊟	12:45～13:00	一関保健センター
		29年7月18日～31日生まれ	30㊟		
	9～10カ月児相談	29年1月1日～19日生まれ	29㊟	8:45～ 9:00	
		29年1月20日～31日生まれ	30㊟		
	1歳6カ月児健診	28年4月1日～16日生まれ	16㊟	12:45～13:00	
		28年4月17日～30日生まれ	17㊟		
2歳6カ月児歯科健診	27年5月1日～19日生まれ	16㊟	8:45～ 9:00		
	27年5月20日～31日生まれ	17㊟			
3歳児健診	26年5月1日～13日生まれ	9㊟	12:45～13:00		
	26年5月14日～31日生まれ	10㊟			
大東 千厩 東山 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	29年7月生まれ	21㊟	12:45～13:00	川崎防災センター
	9～10カ月児相談	29年1月生まれ	14㊟	9:00～ 9:15	
	1歳6カ月児健診	28年4月生まれ	16㊟	12:45～13:00	千厩保健センター
	2歳6カ月児歯科健診	27年5月生まれ	14㊟		
	3歳児健診	26年5月生まれ	15㊟		

*きょうだいなどの同伴で手伝いが必要な人は、託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください

☎子育て支援課（一関保健センター内）または各支所保健福祉課

informatics

ふれあいひろば

☎一関子育て支援センター ☎4170
◇日時…月・火・木 9:30～15:30、水・金 13:30～15:30（㊟を除く）
◇場所…一関保健センター

在宅医療・介護連携市民フォーラム

☎健康づくり課 ☎2160
◇日時…11月25日㊟14:00～16:30
◇場所…一関文化センター
◇テーマ…「わが家がいちばん
—多職種連携で支える在宅医療—」
①基調講演 藤沢病院 佐藤元美 院長
②パネルディスカッション
◇費用…無料

糖尿病予防in一関2017

☎医療法人三秋会 ☎0613
◇日時…11月7日㊟14:00～16:30
◇場所…一関保健センター
◇内容…①講演 熊谷歯科医院 熊谷博伸院長、一関中央クリニック 引地勲糖尿病代謝部門部長 ②栄養相談

アルコール家族教室

☎健康づくり課 ☎2160、各支所保健福祉課
◇日時…11月7日㊟14:00～16:00
◇場所…南光病院
◇申し込み…事前に電話で

フリースペースひだまり

☎健康づくり課 ☎2160
◇日時…①11月6日㊟②11月20日㊟13:30～16:00
◇場所…一関勤労青少年ホーム

医療と介護の窓

～みんなで守ろう地域医療～

文・一関市国民健康保険藤沢病院

もの忘れと共に生きる

高齢者が、8年後の2025年には700万人を超え、65歳以上の5人に1人が認知症になると予測されています。認知症は早期の治療開始と社会の見守りが大事です。このような現状に対応するため、当院ではもの忘れ症状のある人や家族が住み慣れた地域で安心して生活することを目的に「もの忘れ相談外来」を行っています。

この外来は、医師と専任看護師がチームで家族を含めた支援をすることが特徴です。普段のように過ごしているのかを聞きながら、困っていることや心配なことがどのような原因で

起こっているのかを判断し、どのような対応が過ごしやすくなることにつながるのか、本人や家族にとって一番良い方法を一緒に考えていきます。介護の負担やストレスを減らせるようにケアマネジャーなどと協力しながらアドバイスすることもあります。家族の認知症への理解が深まって上手な対応ができるようになることも、安心して生活できるポイントです。

もの忘れ相談外来は、本人と家族のための外来です。予約制で毎週火曜日の午後2時から診療を行っています。1人で悩まずに、気軽に相談してください。

☎一関市国民健康保険藤沢病院 もの忘れ相談外来 ☎63・5211

平成29年度
市勢功労者表彰

市勢功労者表彰は、公共の福祉と市勢の進展に尽くし、教育文化や産業振興などの分野で功績が顕著な市民を表彰します。今年、市勢の発展に尽力した3人が表彰を受けます。



及川 和男さん

84歳・萩荘

教育文化功労



市民の読書意欲の向上させる

20代前半から作家活動を始め、代表作「村長ありき 沢内村深沢晟雄の生涯」をはじめ、ノンフィクションや児童文学を50作以上出版しました。

1989年からは「一関・文学の蔵」を設立する中心的な役割をはたし、2013年から3年間、一関図書館の名誉館長と

して読書の楽しみ方や大切さを市民に伝えました。

及川さんは「誰もが、生まれ育った場所が良いところになってほしいと思っている。自分もその一人にすぎない」と話します。

現在も「一関・文学の蔵」の活動に精力的に取り組んでいます。



小原美樹夫さん

77歳・大東町摺沢

教育文化功労



園児、児童や生徒の健康管理に尽力

1981年から現在まで、市立幼稚園や市立小中学校の学校医を務め、大東地域の園児、児童生徒の健康管理の向上と学校保健の充実、発展に貢献しました。

また、県立千厩病院での4年間の外科勤務を経て、1979年から小原医院を継承。2017年4月に閉院する

まで38年の長きにわたり、地域医療を支えました。きめ細かい指導、処置、治療を行い、「患者の容体が気になり、翌日に電話してほっとすることもあった」と振り返ります。

「医院スタッフの支えがあったからこそ長く続けてこられた」と感謝していました。



菅原 正二さん

75歳・散田

教育文化功労



自分流でジャズの聖地をつくる

早稲田大学在学中、ハイツサエティー・オーケストラでバンドマスターを務めた後、プロのドラマーとして活躍。1970年、地主町の自宅の蔵を改装し、ジャズ喫茶「ベイシー」を開店しました。

「本物の音」を追い求め、独自のオーディオ・スタイルを確立。ジャズサウンドの聖地

として不動の地位を築いた「ベイシー」には、国内外から多くのジャズファンが訪れています。

「空間をぜいたくに使い、東京ではできないことをやろうと思った。都会のまねではなく、全て自己流でやってきたこと」とほほ笑む菅原さん。その信念は、今も揺ぎません。